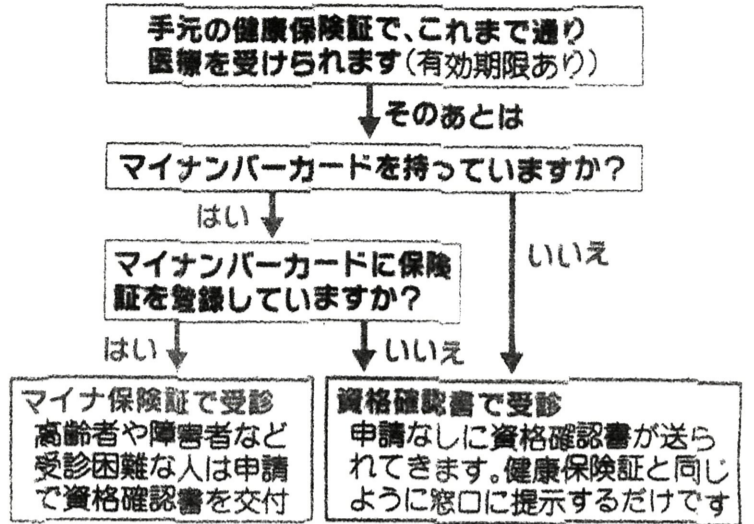


Q&A どうする マイナ保険証

12月2日以降、あなたはどくなる？



信頼される政党の条件「絶対に不倫しない」

国民・玉木氏が過去のブログで

国民民主党の玉木雄一郎代表の資格試験をクリアする表の不倫問題に厳しい批判が、これを条件にするというより寄せられています。一方、玉木も「絶対に、不正をしない」木氏は過去に自身の公式ブログ「絶対に、不倫をしない」などで、国民に信頼される政治家・政党の条件として「絶対に、不倫をしない」「絶対に、不正をしない」ことをあげていました。

「政党とは何か」「同じ政治理念、政策を共有する集団」と持論を展開。「今、有権者が求めているのは、社会保障制度の改革や財政改革などよりも、ひょっとすると、信頼できる政治家、政党の誕生なのかもしれません」と述べていました。

玉木氏が2006年10月7日に自身のブログへ投稿した内容です。「政党の品質保証」と題し、政党のあるべき姿を説いています。ブログでは「(政党は)品質」が問われています。(野)

石破政権は2日に健康保険証の新規発行を終了する方針です。マイナンバーカードに保険証を登録した「マイナ保険証」への一本化を進めるためです。しかし、マイナ保険証の利用率は15・67%（10月時点）と低迷。日本共産党は健康保険証の存続を求めています。「私は医療を受けられなくなるの？」などの疑問にQ&Aで答えました。藤川良大記者

Q 今の保険証は使えなくなる？

1 手元の保険証で今と同じに受診できます

Q マイナ保険証 持ってないけど？

2 まったく問題なし。資格確認書で大丈夫

Q マイナ保険証使うが、エラーが心配

3 「資格情報のお知らせ」携帯しておくのが大切

Q マイナ保険証あるけど、使うのが困難な人

4 資格確認書を申請・取得すれば窓口提示だけで受診できます

紙の保険証廃止 撤回を



メディアをよむ

白神優理子

ことのできるのか、石破氏の覚悟が問われることへ。各党が問われているのは、企業・団体献金禁止への姿勢です。

総選挙で自民、公明両党が過半数割れした初の特別国会が開かれました。開会翌日12日付の全国紙、地方紙では共通して、「裏金問題」の根幹にある企業・団体献金禁止を主張しました。

「毎日」は「企業・団体献金の廃止に踏み込み」と主張。北海道新聞は「平成の政治改革からの積み残しになっていく企業・団体献金を真っ先に廃止すべき」とのべます。山形新聞は「企業・団体献金の禁止まで踏み込み、実現を図ってこそ信頼回復の一步」とし、静岡新聞は「企業団体の献金の禁止にまで踏み込む」

「朝日」は衆院本会議での決選投票についての国民、維新の姿勢を批判。「首相は」大量の無効票に助けられた！無効になるとわかっていて、自党の代表への投票を続け、結果的に首相の続投へ道を開いた日本維新の会や国民民主党の行動は釈然としない」

京都新聞は「(無効票は)事実上、石破政権の延命を助けた」と内閣不信任案を野党共

同日提出しており、与党過半数割れに追い込んだ民意にそぐうのか」と指摘します。

「日経」は「選択的夫婦別姓の導入」を「重要テーマ」に挙げています。

一方「読売」は、裏金事件は「既に刑事事件として決着がついている」、「防衛力の強化やその財源を確保すること」は「急務」と自民党の主張を後押しします。

「産経」は「家族や社会のありように関わる基本問題の変更は絶対に受け入れてはならない」として、選択的夫婦別姓導入の実現を阻んできた自民党を応援しています。

民意に沿い、民主主義を重んずく国会の在り方をめぐり、ふさわしい報道姿勢が求められます。

(しらが・ゆりこ) 弁護士



日刊 (毎日配達されます) 月3,497円

日曜版 (毎週配達されます) 月990円

お申し込みはお近くの党事務所か党員までお願いします

この紙面は「しんぶん赤旗」の切り抜き記事です。